

米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、下記のとおり口頭要請を行いましたので、併せてお知らせします。

記

1 情報提供内容

別紙のとおり

2 口頭要請内容

(1) 要請日

令和6年10月28日（月）

(2) 要請先

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

北関東防衛局長

横田防衛事務所長

(3) 要請内容

令和6年10月25日に、防衛省北関東防衛局より、米空軍の無人偵察機グローバル・ホークについて、昨年5月に公表した横田飛行場

への展開はまだ終了していないが、展開していた3機は現在一時的にグアムに移動。今後、適切な時期に改めて飛来予定、現時点で展開の終了時期を確定することはできない、今後も継続的に横田飛行場とグアムを往来する見込みであるなどの情報が東京都及び基地周辺自治体に提供されました。

本件は、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、周辺国の軍事活動が活発化し、情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動はますます重要となっている中、行われるとのことですが、平成29年度以降、横田飛行場への一時展開は6回目であり、令和元年度以降5年連続かつ、今回の一時展開は一年以上継続していることから、横田飛行場への常駐化を含む今後の運用が強く懸念されます。

については、次のとおり要請します。（※）

- 展開の終了時期、周辺住民に影響を与える事項及びグローバル・ホークに関わる今後の運用について、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。
- 安全対策を徹底するとともに、騒音など周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。

※ 国に対しては、「については、このような状況を十分認識され、次のとおり米軍に申し入れを行うとともに、国の責任において情報収集に努め、迅速かつ正確な情報提供等を行うよう要請します。」と要請

米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開について

別紙

背景

- 我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、周辺国の軍事活動が活発化する中、情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動はますます重要。
- 特に、優れたISR能力を有する米軍との協力は極めて重要であり、米軍は、2014年以降、グアムを拠点に運用されている米空軍の無人偵察機グローバル・ホークを日本に一時展開しており、現在は令和5年5月からグローバル・ホーク3機を横田飛行場に展開。（我が国周辺の安全保障環境を踏まえ、展開終了時期は未定。ただし常駐ではない。）

米側からの更新情報について

米側から次のとおり説明あり。

- 昨年5月に公表した横田飛行場への展開はまだ終了していないが、展開していたグローバル・ホーク3機は現在一時的にグアムに移動。
- 今後、適切な時期に改めて横田飛行場に飛来予定。（天候等の影響によるダイバートを含む）
- 現下の安全保障環境を踏まえると、現時点で展開の終了時期を確定することはできない。
- 今後も継続的に横田飛行場とグアムを往来する見込みであるものの、今後の往来頻度や時期については運用に係ることであり、明らかにすることができない。
- 部隊の本隊はグアムに所在し、今回の展開は横田飛行場に常駐するものではない。

機種名	RQ-4（グローバル・ホーク）
全幅	39.90m
全長	14.50m
全高	4.70m
最大離陸重量	12.1t
運用速度	574km/h
航続距離	22,779km
滞空時間	36時間
運用高度	15,240～19,810m
搭載センサー	可視、赤外線、SAR（合成開口レーダー）、信号情報
初飛行	1998年



日本への展開実績

・2014年5月～10月	三沢
・2015年7月～12月	三沢
・2017年5月～10月	横田
・2018年6月～10月	三沢
・2019年8月～10月	横田
・2020年7月～9月	横田
・2021年5月～10月	横田
・2022年5月～10月	横田
・2023年5月～現在	横田